

東京医科歯科大学医学部附属病院  
クオリティ・マネジメント・センター(QMC)が目指すもの

# 現在の課題と背景

医療技術の高度化、  
国民意識の変化



医療の質の確保が  
重要！

ところが～



大学病院等では、医  
療の質の評価が不  
十分

大学病院の手術、麻  
酔関連死亡事故！

- 当院にも当てはまる課題
- 医療の質の評価が不十分だと、**潜在的なリスク**を抱えているといえる
- 同時に、収益の確保など、**経営の質**の改善も重要

# 当院の置かれている状況

ID04手術技術度DとEの手術件数

全国No8

☆当院が全国10位以内☆  
全手術件数、緊急手術件数、外来  
化学療法件数、新規外来患者数等

「国立大学病院評価指標」より

# 当院の置かれている状況

ID29在院日数の指標

全国No5



「国立大学病院評価指標」より

# 当院の置かれている状況

---

- パフォーマンスの視点では、全国トップクラスの大学病院
- みんな、よく頑張っているのは、間違えないようです

# 当院の置かれている状況

ID30患者構成の指標

全国No27



「国立大学病院評価指標」より

# 当院の置かれている状況

ID09脳梗塞の早期リハビリテーション実施率

全国No\*\*



「国立大学病院評価指標」より

# 当院の置かれている状況



ID10急性心筋梗塞患者における入院当日  
もしくは翌日のアスピリン投与率

全国No\*\*



「国立大学病院評価指標」より



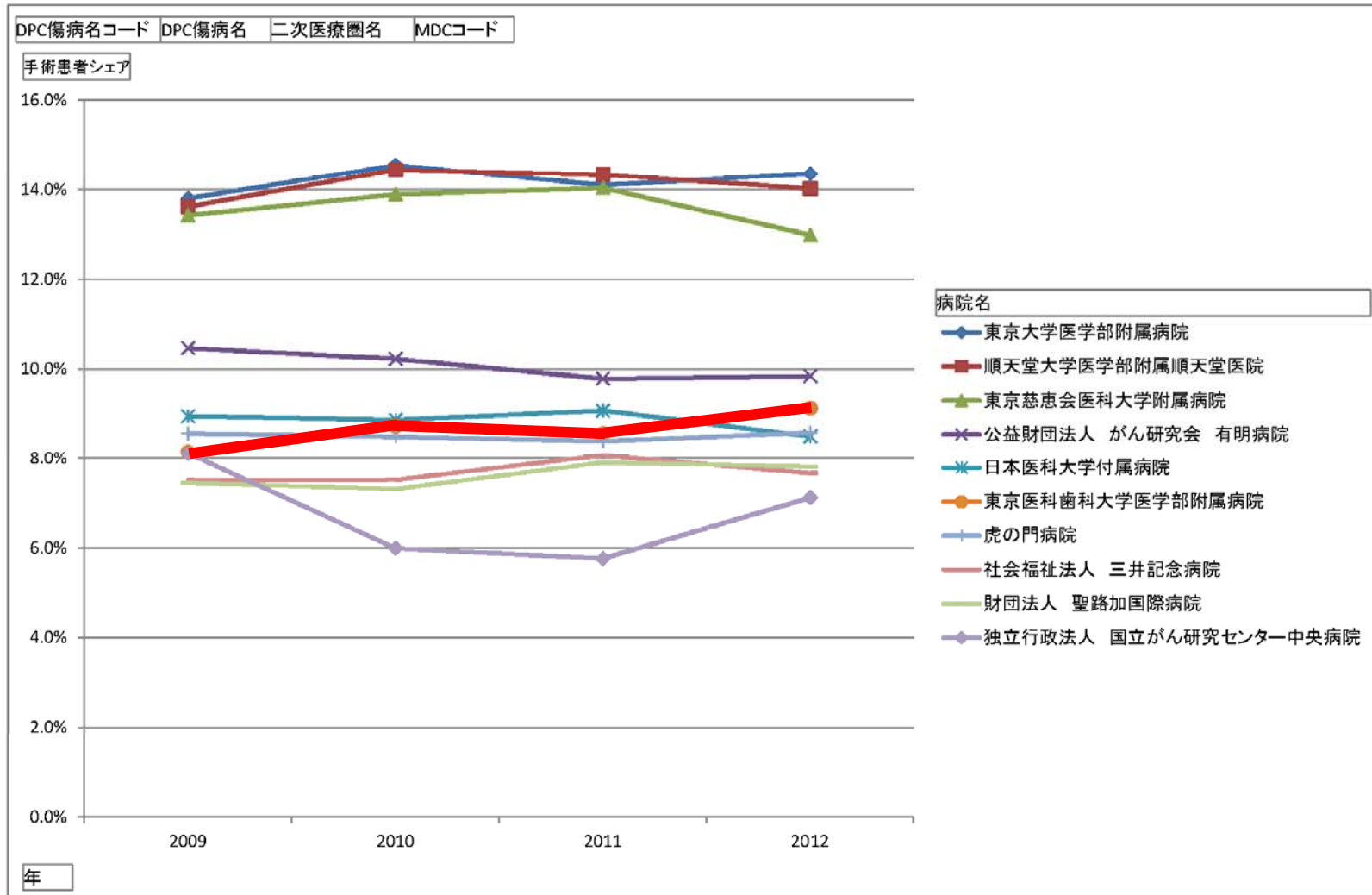
# 当院の置かれている状況

- 患者構成の指標が低いのは？
  - － 大学病院らしい患者が減っているのではないか
  - － 医療機関係数が減り、収入が減ってしまう可能性がある
- 臨床指標が低いのは？
  - － 「標準的な治療」が提供されていないかもしれない
  - － 将来、このような数値が公表されるようになると、大変

# 当院の置かれている状況

手術患者東京東部地域内シェア

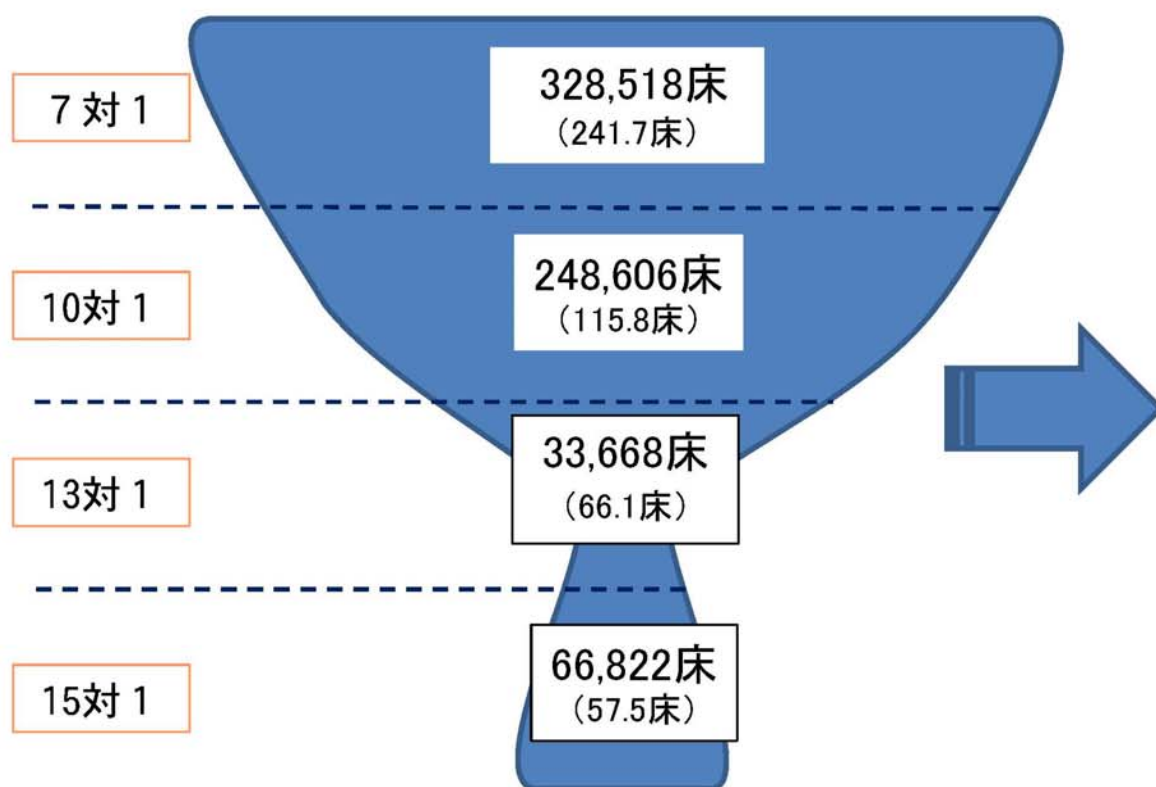
全疾患



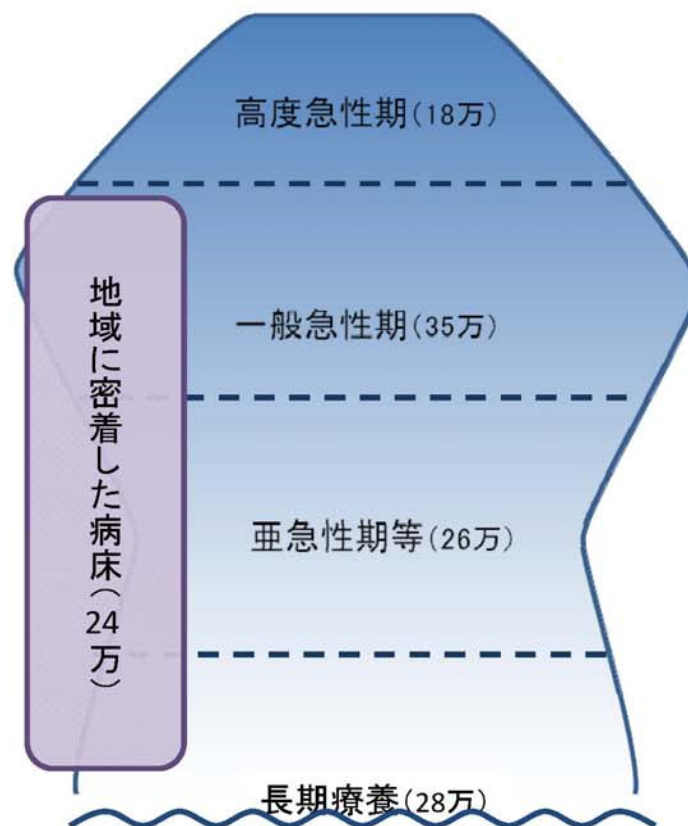
# 現在の一般病棟入院基本料の病床数

## 【一般病棟入院基本料】

＜2010(H22)年の病床数＞



＜2025(H37)年のイメージ＞



保険局医療課調べ

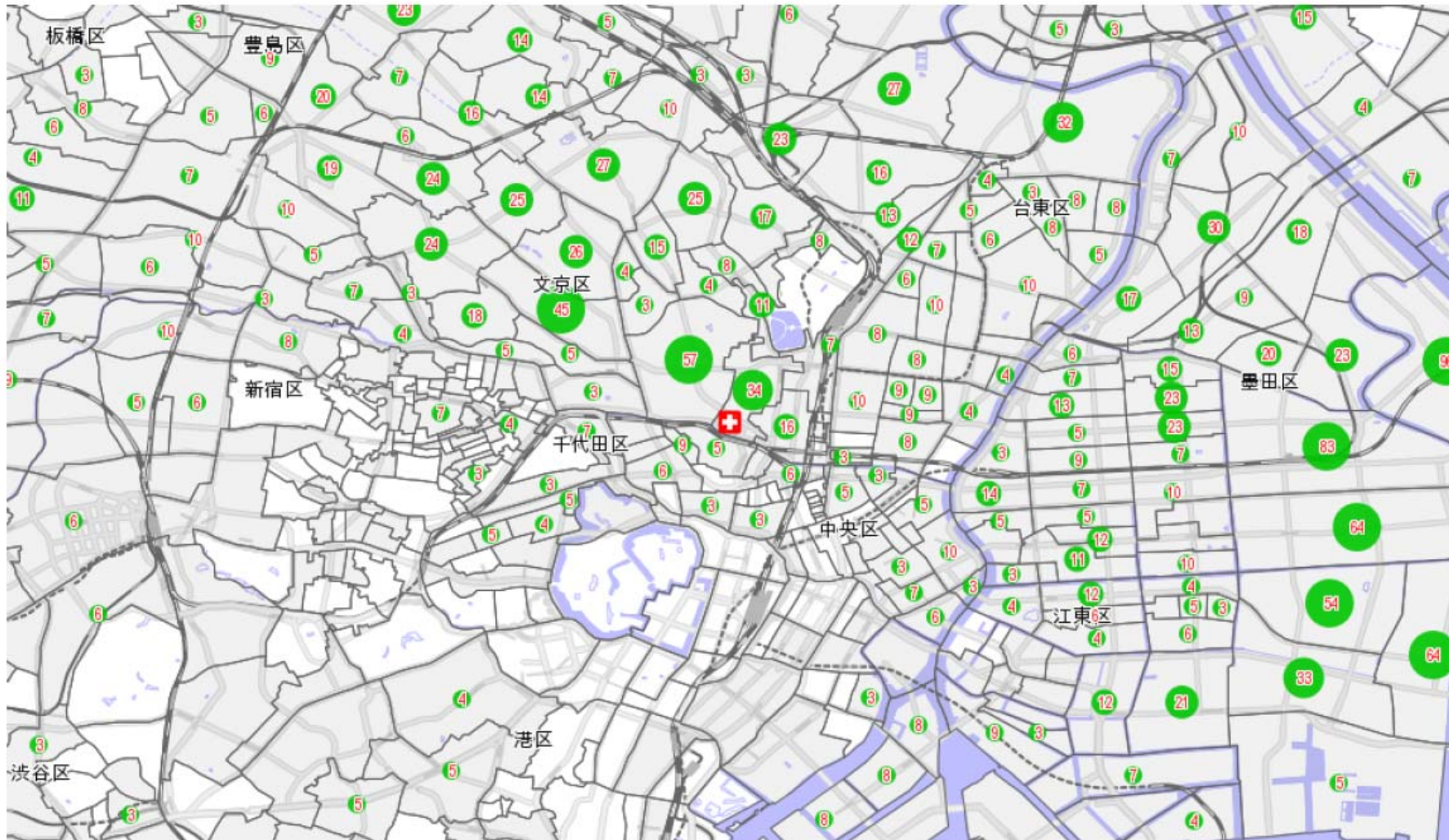
(括弧内は1医療機関あたり平均病床数)

- 届出医療機関数で見ると10対1入院基本料が最も多いが、病床数で見ると7対1入院基本料が最も多く、2025年に向けた医療機能の再編の方向性とは形が異なっている。

# 当院の置かれている状況

医療機関名：東京医科歯科大学医学部附属病院

MDC：00全MDC



# 当院の置かれている状況

ID26新規外来患者数

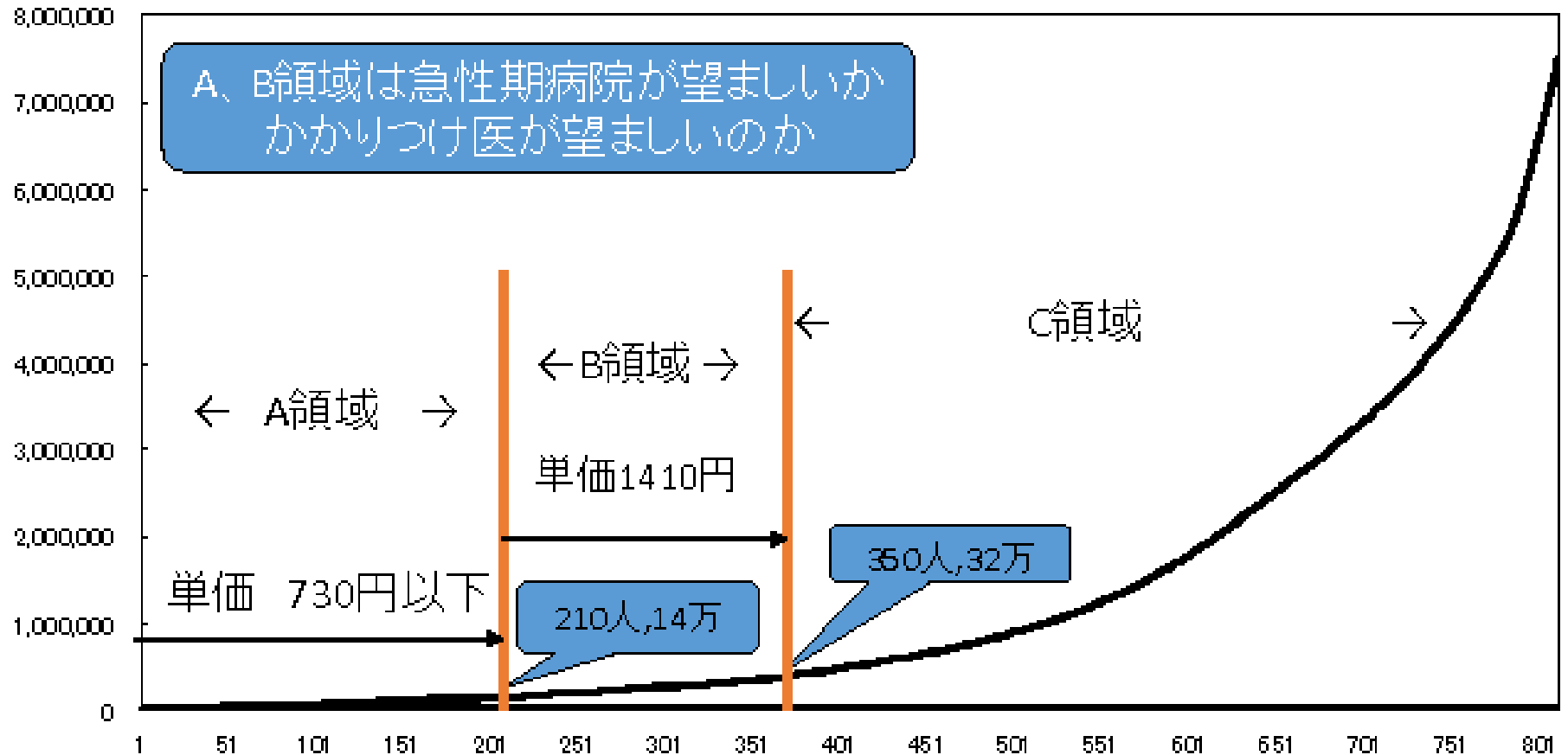
全国No2



「国立大学病院評価指標」より

# 外来「ナイアガラ分析」の例

(月間稼働額)



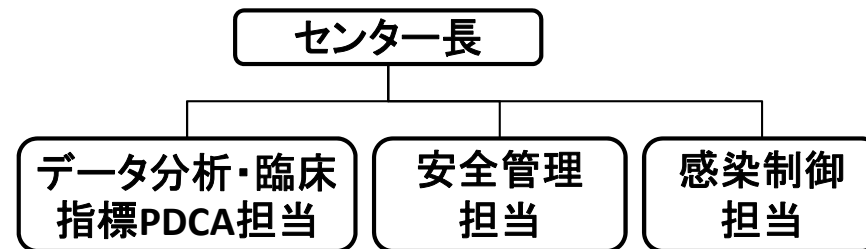
# 当院の置かれている状況

- 世界一の病院激戦区で戦っている
  - 今後も、大学病院らしい患者を確保できるのか
  - 病床機能分化に際し、「高度急性期」をどこまで確保できるか
- 当院の診療圏は「東京都東部」
  - 今後、高齢化が急速に進む地域
  - 疾病構造が、脳血管疾患、肺炎等に大きく変わっていく可能性
- 外来患者が多いことは良いこと？
  - 「大学病院は入院医療に特化せよ」
  - 外来患者が減ったとき、入院患者を確保できる？

## 附属病院 クオリティ・マネジメント・センター

院内の診療関連情報を集約し、医療の質保証と  
病院マネジメント改革のためのエビデンスを提供

- ・院内各部門よりデータを収集し、分析
- ・各診療科と連携して臨床指標を活用した医療の質保証のPDCAを実施
- ・医療安全・感染制御部門と連携しデータ分析に基づくPDCAの実施



医療の質保証・  
安全管理・感染  
制御のPDCA



各診療科

安全管理  
対策室

感染  
制御部



# クオリティ・マネジメント・センターの組織体制

医療担当理事

病院長

クオリティ・マネジメント・センター

クオリティ・マネジメント・センター長

データ分析・  
臨床指標PDCA担当

副センター長 特任講師  
(看護師)  
特任職員 (看護師)  
事務担当

安全管理担当

特任講師  
(医師)

感染制御担当

特任職員  
(薬剤師)

医学部附属病院A棟5階  
(安全管理対策室向かい)

# クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

診療の質の視点からの評価

## 1. 医療の質・安全・感染の臨床指標

- 診療科別・部門別の集計、レポート作成

## 2. パスの管理と分析

- データに基づくパスの設計支援
- パス運用状況調査
- バリエーション分析と評価

## 3. 診療アウトカム分析

- 死亡症例調査（術後死亡等）
- 術後在院日数分析（診療科別、術式別等）
- 術後再入院率
- 手術患者の輸血使用に関する分析
- 術後感染に関する分析

# クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

経営の質の視点からの評価

## 1. 医療連携の評価

- 前方連携と入院率、手術率の評価
- 後方連携と在院日数の評価
- 地域連携パスの評価

## 2. 外来診療の効率性の評価

- 外来機能分析(検査、注射、手術等)
- 外来→入院関連分析
- 医師の外来診療負担の分析

# クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

関連部門との連携

## 1. 安全管理対策

- 医療安全関係の指標の計測
- インシデント・レポート分析
- 診療記録分析
- 安全管理対策室との業務連携

## 2. 感染制御

- 抗菌薬の使用状況に関する分析
- 診療記録分析
- 感染制御部との業務連携

# クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

## 大学事業戦略

### 病院事業への対応

- JCI(Joint Commission International)認証等の機能評価対応
- 事業戦略立案補助

# クオリティ・マネジメント・センターの事業内容

P  
D  
C  
A  
医療クオリティ・  
マネージャー養成事業

## 実践的な教材の提供

- 臨床指標、PDCA実践などの経験から、生きた教材を作成
- 演習で利用できる医療データの提供

## 医療の質向上の現場の取組を体験

- 医療生データの分析による質の評価
- 患者マーケティングなどの経営分析
- PDCAの実践の体験

# 最後に

- 貴重な医療データベースが構築されますので、その活用の、ご提案、ご意見を、お待ちしております。

スタッフ一丸となって、当院が『心と身体(からだ)を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めて』いけるよう、全力を尽くしますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。